福島建設工業新聞

発行所
福島市西中央２丁目59
（郵便番号960-8074）
福島建設工業新聞社
電話（024）534-7456（大代表）
©福島建設工業新聞社
㈳日本専門新聞協会加盟紙
ホームページ
ホームページアドレス
http://www.fk-news.co.jp
e-mail
hensyu@fk-news.co.jp

ゼロ債 倍増52億規模

施工平準化へ 12月補正で県土木部

県土木部は、30年度12月補正予算案で、限度額52億3060万円のゼロ債務負担行為（ゼロ債）を設定した。働き方改革を背景とした施工の平準化、工期確保の取り組みを進めていくため、昨年度（24億9690万円）の2倍超の規模とした。次年度事業の契約前倒しを可能にするゼロ債の活用により、年度当初の工事量を確保。降雪期や出水期前の工事完了が必要な個所などに重点配分する。個所は現在精査中。予算議決後、年明けに順次発注手続きを開始し、年度内に契約を終える。

今補正のゼロ債の限度額内訳は、県単事業分が30・8億円（29年度14・4億円）、交付金事業分が21・5億円（同10・6億円）。県単、交付金事業とも大幅に規模を拡大した。

ゼロ債は、発注する年度の支出を伴わず（初年度支出ゼロ）、次年度の事業を前倒しして発注できるようにする仕組み。同部が、施工円滑化のための取り組みとして26年度、ゼロ債の活用を再開させて以降、その規模（限度額）は26、27年度の5～6億円台から、交付金事業にもゼロ債を活用し出した28年度には14億5530万円と拡大させてきた。

実施個所は、会津地方など積雪によって施工期間が限られる豪雪地で、降雪期前の完了を要するもの。また今夏の西日本豪雨を踏まえ、地域住民の安全安心確保のため出水期前に洪水被害対策を講じる必要のある事業などを中心に拾い出す。

国道252号・只見町の雪崩対策工や、中島村の阿武隈川河道掘削工などを想定している。12月補正案ではこのほか、復興創生関連の経費に4億9051万円を措置した。相馬港背後で、防災緑地と一体で整備中の相馬亘理線・原釜尾浜工区に9300万円を追加し、舗装工事を行って年度内に完成させる。

いわき市の市道二反田曲田線・下矢田工区は、生活拠点形成交付金事業により、市に替わって県が、避難者支援のため、復興公営住宅周辺のアクセスとなる道路を拡幅する。事業費5800万円をつけた。

減額分を差し引いた部全体の補正額は1億1563万円となる。

公共事業は5・5千万減
県12月補正案

県の30年度12月補正案の予算規模は、一般会計25億8600万円となった。

公共事業費は、年間所要見込みや国交付金の確定などで、農林水産、土木両部計5530万1000円を減額した。

内訳は農林水産部が①普通建設事業費＝2億9314万3000円減額②災害復旧事業＝2億9159万6000円減額③県単公共事業＝1015万1000円減額④維持補修費＝575万円増額など、土木部が①災害復旧事業＝1億6000万円増額②県単公共事業＝3億3051万3000円増額など。

県教育庁
エアコン設置に9.7億
普通校40校、特支校は設計のみ

県教育庁は12月補正予算案に県立学校空調設備整備事業9億7058万6000円を計上した。

今夏の猛暑を受けて9月県議会定例会冒頭、内堀知事がエアコンの設置検討を表明していた。来年夏までにおおむね設置する予定。エアコンを設置する個所は「生徒が通常使用するところ」で普通教室棟（特別支援学校は一部特別教室棟含む）が対象。

現在、保健室を除きエアコン未設置の県立学校は54校《表参照》あり、うち12校は特別支援学校。設置済みの学校はほとんどが大規模校で、PTAが設置している例が多いという。生徒数が少ない学校は1人当たりの負担も大きくなることから、設置が進まない状況だった。

今回計上するのは普通高校が40校分の設置費（設計、工事一括）。特別支援学校は電源工事が必要となるため10校分の設計費を計上し、再来年の夏までの設置を目指す。残りの普通、特別支援各2校は予定する大規模改修工事に合わせるため、32年度以降となる。発注業務は学校が行う。

中通りは震災復旧時にエアコンを設置した学校が多く、未設置校が浜通りや会津地域などに集中していることや、市町村も同時期に予算化することが予想され、工事が集中することから県は業界に協力を求めたい考えだ。

他県も同様の状況で、国は製造者に対しエアコンの増産を行うよう働きかけているという。

県立学校のうちエアコン未設置校

高校（定時制、分校含む）		南会津	南会津高校
県北	川俣高校		只見高校
	二本松工業高校	相双	相馬東高校
	安達東高校		相馬農業高校
	福島中央高校		新地高校
県中	郡山北工業高校	いわき	平工業高校
	湖南高校		小名浜高校
	長沼高校		いわき海星高校
	岩瀬農業高校		磐城農業高校
	石川高校		勿来高校
	田村高校		勿来工業高校
	船引高校		好間高校
	小野高校		遠野高校
	安積高校御舘校		四倉高校
県南	白河実業高校		いわき翠の杜高校
	塙工業高校	特別支援学校	
	修明高校鮫川校	県北	視覚支援学校
会津	会津工業高校		大笹生支援学校
	喜多方東高校	県中	聴覚支援学校
	喜多方桐桜高校		あぶくま支援学校
	猪苗代高校		石川支援学校
	耶麻農業高校	県南	西郷支援学校
	西会津高校	会津	会津支援学校
	大沼高校		猪苗代支援学校
	川口高校		聴覚支援学校会津校
	坂下高校	いわき	聴覚支援学校平校
	会津第二高校		いわき支援学校
南会津	田島高校		いわき支援学校くぼた校

本県セメント販売高
年度上期が8.6％減
24年度をやや上回る水準　建築向けは好調

セメント協会のまとめによると、県内の30年度上期販売高は8・6％減の45万3012㌧で、24年度同期をやや上回る水準となった。

建築の民需が98・9％増の9547㌧、官公需が1・3％増の3630㌧、港湾が2・7倍の3029㌧と伸びたものの、主力の生コンが10％減の29万6754㌧、セメント製品が7・2％減の10万1915㌧、道路橋梁が33・2％減の2670㌧、土木が15・4％減の2万8754㌧、その他が18・8％減の6680㌧、土木が15・4％減の2万8754㌧と振るわなかった。

9月は13・8％減

9月は13・8％減の7万9361㌧と2桁減になった。建築の官公需が43・5％増の465㌧、同じく民需が2・4倍の2061㌧、土木が10・4％増の7603㌧と伸びた。港湾は462㌧で前年が月当たり221㌧なのに対し、30年は3月以降300～500㌧が続き、月当たりも441㌧と2倍になっている。

しかし、生コンが5万1608㌧、セメント製品が1万5578㌧でともに18％減、道路橋梁が10・2％減の544㌧、その他が30・1％減の1038㌧と前年を大きく下回った。

30年度上期
災害多発で伸びず
全国は前年並みの2070万㌧

全国では、今年度上期は2070万3000㌧と、前年同期比0・1％の微減にとどまった。第1四半期は増加したが、第2四半期は西日本豪雨や台風21号、北海道胆振東部地震などの影響で減少した。同協会では第3四半期以降、需要が回復すれば30年度は当初想定していた4200万㌧を上回ると見ている。

地域別では北海道104万8000㌧（7・7％増）、東北203万6970㌧（5・8％減）、関東一489万9029㌧（3・2％増）、関東一1181万4713㌧（4・9％減）、北陸113万1176㌧（19・9％増）、東海241万4370㌧（8・3％増）、近畿260万5658㌧（4・9％減）、四国71万1593㌧（5・4％減）、中国114万7878㌧（7・2％減）、九州241万0087㌧（1・7％増）、沖縄48万3840㌧（0・5％減）。

関東一地区は五輪施設や再開発、北陸は北陸新幹線、東海は火力発電所などによって増加した。

9月単月は8％減の338万3000㌧。北陸が9・7％増、九州が0・5％増と伸びたが、ほかは減少。地震の影響で北海道が18・8％減と大幅に落ち込んでいる。

輸出は18・6％減の76万8000㌧と、6カ月連続で減少。国内販売と輸出を合わせた販売の合計は10・1％減の415万1000㌧と5カ月連続でダウンした。

生産は0・3％増の499万6000㌧。5カ月ぶりに増加。在庫は前月比4・2％増の429万4000㌧。

福島環境事務所
WTO標準型で2件
年明けに開札　大熊町特定拠点除染など

環境省福島地方環境事務所は16日、施工体制確認型総合評価（WTO標準型）一般競争2件を公告した。

▽大熊町特定復興再生拠点区域被災建物等解体撤去等および除染等工事（その2）＝混合入札。参加資格は土木工事と建築工事A等級。特定JV（5社以内）のその他構成員は土木A、建築A・B等級。申請期限12月10日正午。開札31年1月7日

解体対象300件。①W造上屋総延べ9万5955平方㍍（基礎解体1050棟）②S造3384平方㍍（45棟）③RC造846平方㍍（27棟）。除染は住宅地と大型施設のほか、舗装道路9万2700平方㍍、未舗装道路9770平方㍍。農地は地力回復が水田53万6800平方㍍、畑15万4400平方㍍、果樹園7万4200平方㍍など。除去土壌等運搬は不燃物6万7900立方㍍、可燃物1万9800立方㍍。工期31年10月31日。

▽南相馬市仮置場復旧等工事＝土木工事A等級単体または特定JV（3社以内）。申請期限12月7日正午。開札31年1月10日。

「川房仮置場②」の原状回復、仮置場遮へい土破袋等・土運搬6カ所のほか、未舗装道路除染7400平方㍍、水田除草・地力回復16万5000平方㍍、畑同16万平方㍍、森林除染、ため池保管物撤去・原状回復ほか。工期31年9月30日。

前払金保証
10月請負額4カ月連続増
件数も3カ月ぶり前年超

東日本建設業保証福島支店管内の10月前払金保証実績は、取扱件数が前年同月比13・3％増の861件と3月ぶりに増加。請負金額でも39・8％増の718億3900万円と、4カ月連続で前年を上回った。10月としては、26年の777億3800万円以来の水準で、震災発生後の23年度以降で2番目。

機関別の請負金額を見ると、国は3カ月連続の増加。国交省分が49・6％減の17億1500万円と落ちたが、前月に続き環境省分が大きく伸びた。独立行政法人等、県も4カ月連続の前年超。県は土木部が21％減の92億3400万円と前年割れに転じたが、農林水産部が35・2％増の79億700万円と3カ月ぶりに増加した。独法等は低水準だった前年の反動。

市町村は3カ月ぶりの増加。村が25・4％減の16億1900万円と落ちたが、市が53・2％増の153億4200万円、町が85・8％増の36億8600万円と伸びた。

累計は4658件で請負金額4023億8200万円。請負金額は前月までのマイナスから2・3％の増加に転じた。

国が環境省分の取り扱い増で33・5％増の1599億8500万円と伸びたため。県は6・8％減の1024億3400万円、市町村も22・7％減の1110億4700万円と依然、前年を下回っている。

10月の発注者別請負金額（単位＝百万円）は次の通り。※カッコ内は前年度比

▽国23、191（109・8％増）▽独法等673（前年48）▽県27、230（10％増）▽市町村20、648（45・7％増）▽その他95（92・9％減）

常磐道付加車線関連
紅葉川橋上部工公告
鋼橋A対象、3日まで申請

東日本高速道路東北支社は16日、常磐自動車道付加車線設置に伴う「紅葉川橋（鋼上部工）」工事の総合評価（工事実績評価型＝実績Ⅱ型、施工体制確認型併用）一般競争を公告した。

富岡町大字上郡山～双葉町大字寺沢間の①紅葉川橋（鋼単純合成2主鈑桁）47・5㍍②寺沢橋（鋼単純合成3主鈑桁）39㍍の2橋上部工＝鋼構造物架設約193㌧。申請期限12月3日、31年1月18日午後1時半開札。

対象者は「鋼橋上部工」A等級で、実績要件（15年度以降）は①鋼鈑桁橋か鋼箱桁橋の工場製作②トラッククレーン（クローラクレーン）工法（ベント併用含む）で最大支間長35㍍以上の鋼鈑桁か鋼箱桁を架設した道路橋工事。

設計受託者は①紅葉川橋詳細設計＝オリエンタルコンサルタンツ②寺沢橋詳細設計＝信和設計。工期600日間。

県造園建設協
後期実技試験合格へ
3級検定で予備講習会

県造園建設業協会（諸井道雄会長）は15日、須賀川市の県ものづくり支援センターで、今年度後期「3級造園技能検定」実技試験の予備講習会を開いた。本試験合格を目指し、会員企業の受検予定者1人が真剣に講習に臨んだ。

講師は西東一守西東植物園社長が務めた。講習では本試験と同じく「四ツ目垣」作成と玉石、敷石の敷設に取り組んだ。受講者は西東社長の的確なアドバイス・指導を受けながら、作業手順、施工上の留意点などを実習した。

16日には福島市の同協会会館で、学科試験の予備講習会も開いた。

実技試験合格を目指して開いた予備講習会

企業の農業参入でセミナー
県が来月5日、郡山で

県は、県内での農業参入に関心を持つ企業・団体等を対象とした「ふくしま企業農業参入セミナー・相談会」を12月5日、郡山市熱海町の多目的交流施設「ほっとあたみ」で開く。

午後1時10分からのセミナーでは、既に農業分野へ参入している三宝工業（伊達市保原町、建設・土木）の長田吉正農業部執行役員が事例発表。企業の農業参入に当たっての留意事項を県農業会議の担当者が講義する。県農業振興公社、県農業経済課からは、農地の取得・貸借や資金調達についての説明がある。

午後3時からは個別相談会。農業参入に関心を持つ企業等が抱える疑問や課題等について、相談を受け付ける。

定員100人。参加無料だが、事前申込が必要。セミナー・相談会とも、県農林水産部農業担い手課ホームページから「参加申込書」をダウンロードし、26日までに同課へFAX024（521）7938かE－mailで申し込む。問い合わせは☎024（521）7340。

ふたば未来で研修会
県電設業協会
大規模輻輳現場で技術力共有

配線工事の状況などを見学する参加者

県電設業協会（大槻博太会長）は14日、来年4月の開学を目指し広野町中央台地内で建設が進められている県立ふたば未来学園で現場研修会を開いた。

大型建築現場における施工技術および調整能力など知識向上を目的に開いたもので、会員企業の現場代理人や技術者と県設備設計事務所協会員の合わせて55人が参加した。

初めにJR広野駅前にある県営繕課の現場監督事務所（広野町駐在）に集合。八巻正隆副会長のあいさつに続いて、渡邉輝義主幹、荒川浩樹主任主査、松浦ヒサ子主任建築技師、渡辺哲雄主査から事業概要などについて説明を受け、現場に移動した。

現場では電気設備工事を施工している高柳電設工業の荒木克志監理技術者と特別教室棟の土谷悟、普通教室棟の吉田俊之、体育施設棟の高橋宏貴各現場代理人から工事概要と進捗状況、当日の作業内容などについて説明を受けた後、2班に分かれ現場代理人の案内で、3棟の照明設備や各種配線設備の施工状況などを見て回った。

施設は原子力災害からの復興を果たすためのグローバルリーダー育成を目的に建設を進めているもので、約5万7500平方㍍の敷地に、3棟の普通教室棟（W造2階建て総延べ床面積5435平方㍍）を中心に、RC造の管理・特別教室棟、体育施設棟など合わせて8棟の建物群が、高低差を生かしながら弧の字型に配置されている。多目的ホールや厨房・食堂なども備え、総延べ床面積は約2万1500平方㍍。

槌音

朝、福島市から国道114号線を利用して、浪江町に向かった。通学・通勤時間帯の後ということもあり、川俣町の中心部までは上下線とも車の流れは比較的スムーズ。同町山木屋地内で進められている国道改良工事を横目に見ながら進むと、東に向かう10㌧ダンプが目につくようになる▼県内各地で行われた面的除染も帰還困難区域を除いて終了し、現在は仮置場への搬入と、仮置場から中間貯蔵施設への搬出が本格化している。輸送ルートは高速道路を基本に、東西をつなぐ主要幹線道路も利用されている。今年度は約180万立方㍍、来年度は約400万立方㍍が搬出される予定だ▼中間貯蔵施設へ輸送するダンプドライバーには、法定速度内での走行や、安全な場所で後続車を先行させるなどの、さまざまな安全最優先の指示が出されている。環境省には「速度が遅すぎる」という苦情が多く寄せられるというが、中には「重量のわりに速すぎる」と真逆の声もあるという▼既に見た方もいると思うが、同省は県内の民放テレビ局で、輸送への理解を促す3パターンの15秒CMを流し始めた。放映期間は25日までだそうだ。輸送のピークはこれから。県内の環境再生と復興に欠かせない事業だけに、大きな気持ちで見守りたい。輸送ルートを走行する際は、ゆとりある出発を。（遠）

緑は生きるあかし
◆造園緑化
豊かな『緑環境』の構築
◆法面保護
自然循環型工法
◆雨水活用
雨水ろ過長期保水システム
◆屋上開発
屋上緑化で環境改善・保全
株式会社緑生建設
郡山市並木五丁目5-17
TEL024-922-7706
FAX024-922-4444
田村営業所　三春町斎藤字町田24

安全・安心の住まいづくり、まちづくり
建築確認検査
まもりすまい保険（住宅瑕疵担保責任保険）
適合証明検査（フラット35）
災害復興住宅融資工事審査
住宅性能評価
長期優良住宅技術的審査
低炭素建築物技術的審査
すまい給付金制度
長期優良住宅化リフォーム技術的審査
建築物省エネ適合性判定
BELS評価
お問い合わせは
一般財団法人
ふくしま建築住宅センター
理事長　野内忠宏
本部　福島市五月町4-25 福島県建設センター4階 TEL.024-573-0118
県北事務所　福島市五月町4-25 福島県建設センター1階 TEL.024-573-0121
県中事務所　郡山市台新一丁目33-5 郡山市建設会館2階 TEL.024-995-5022
いわき事務所　いわき市平字童子町4-18 いわき建設会館3階 TEL.0246-35-1050
会津事務所　会津若松市西年貢町2丁目1-17 TEL.0242-38-3611

外壁のアスベスト含有仕上塗材除去
隔離方法を必要としない工法区分『Ⅱ』の場合
SDS工法®
（スーパー・ドライ・スプレー工法）
【機器・工具の例】
SDS工法ユニット
特徴【WBGT値を低減させる】
◆隔離工法を必要としない「石綿則第6条但し書き」に準じた「工法区分Ⅱ」に対応した工法。
◆熱中症予防効果：上部に霧吹きの霧よりはるかに細かい"スーパー・ドライ・スプレー"を大量に噴霧して気化熱により作業エリア内のWBGT値を下げ熱中症予防を計る。
◆周辺への飛散防止効果：スーパー・ドライ・スプレーの噴霧により上部に霧のバリア層を作り、上昇粉じん粒子を捕集・沈降させて周辺への飛散防止を計る。
◆噴霧ユニットはワンタッチ接続で長さを増減することができる。
◆ノズルの口径を替えることによって、現場での最適環境雰囲気を作り出す。
ISO 9001 認証取得
ISO14001（本社）
ISO9001　ISO14001
東北ビルハード株式会社
URL http://www.tbhkk.co.jp　E-mail info@tbhkk.co.jp
郡山市富久山町久保田字我妻84-7
TEL(024)921-6333㈹
FAX(024)921-6331

あなたの大切な住空間を素敵に演出してみませんか
■営業品目
●カーテン（自社縫製）●カーペット●ロールスクリーン●インテリア小物●ブラインド●クロス襖張替●リフォーム●外装工事●テント販売●太陽光発電販売代理店
create fukuka
カーテンギャラリー
福貨商事株式会社
福島市吉倉字吉田51-1　TEL(024)546-1291㈹　FAX(024)546-1294
http://www.fukuka.jp/

バナー広告募集
□月間14万ページビュー
本紙HPにバナー広告を掲載してみませんか
お問い合わせは本社・支社・各支局へ